

議案2

令和元年度難病医療提供体制整備事業の実施状況について(報告)

1 概要

- ・難病について、早期に正しい診断ができ、診断後は患者のより身近な医療機関で適切な医療を受けることができるよう、難病診療連携拠点病院を中心とした医療提供体制を整備する。

(経過)

- ・北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会難病対策小委員会(北海道難病対策協議会)にワーキングを設置し、H30年度に本道における難病の医療提供体制の構築に向けた検討を行い、難病診療連携拠点病院等を選定。(H31.3.29 難病対策小委員会で協議・確認)

2 令和元年度における難病医療提供体制整備事業について

【難病診療連携拠点病院】

- ・令和元年(2019年)10月11日に北海道医療センターを指定
- ・役割:難病が疑われながらも診断がついていない患者について、難病医療協力病院や一般病院、診療所からの相談に応じ、早期に正しい診断が可能な医療機関等に相談・紹介 等
- ・難病診療連携コーディネーター、難病診療カウンセラーの配置(各1名)

【難病診療分野別拠点病】

- ・令和元年(2019年)10月11日に札幌医科大学附属病院消化器内科(炎症性腸疾患に限る)を指定
- ・役割:当該専門分野の難病の初診から診断に至るまでの期間をできるだけ短縮するために必要な検査の提供 等

【難病医療協力病院】

- ・各地域において医療機関に依頼し指定(同意が得られた医療機関を随時指定)
- ・役割:診断が困難な難病患者について、難病診療連携拠点病院等と連携し適切な医療機関を紹介

○難病医療協力病院の指定状況(R2年(2020年)3月26日時点)

地 域	医療機関名	地 域	医療機関名
後志	小樽市立総合病院	留萌	留萌市立病院
南空知	岩見沢市立総合病院	北網	北見赤十字病院
中空知	砂川市立病院	遠紋	遠軽厚生病院
北空知	深川市立病院	十勝	帯広厚生病院
西胆振	日鋼記念病院	釧路	釧路労災病院
日高	浦河赤十字病院	根室	町立中標津病院
南渡島	市立函館病院		

※その他の地域については、順次指定予定。